

平成28年度 第4回国際委員会議事録

日時：平成28年10月14日（金）

場所：福岡サンパレス 4F 7:00～8:00

出席：（担当理事）中村 雅也

（委員長）松山 幸弘

（委員）石井 賢、小澤 浩司、川口 善治、酒井 大輔、種市 洋、
千葉 一裕、波呂 浩孝、宮腰 尚久

欠席： 加藤 慎介（敬称略）

報告事項

1. 担当理事から委員会への報告

同日、昼の理事会開催のため特になし。

2. 委員会内部報告事項

1. English oral session の活性化に向けた取り組み

1) 宮腰委員より 2017 学術集会運営準備状況が説明された。演題募集に際し English Presentation Award として 1.Trauma, 2. Infection の 2 テーマで募集した。会場は第4会場を 1 日使用できるように予定している。応募演題数に応じてセッション数を決定する方向である主旨が報告された。

2) 海外からの応募を促進する目的で、国際委員会招聘演者 5 名の所属施設から数名の演者に応募してもらい、演者一人あたり 5 万円の補助を学会から支給する事につき理事会での承認を得る主旨が中村担当理事より報告された。

当日昼の理事会では時間切れのためメール審議となった。（中村理事）

3. 2016 年アジアトラベリングフェロー（受け入れ）について台湾脊椎外科学会 会長 王世典先生の推薦により、Dr. Jen-Chung Liao ならびに Dr. Chang-Jung Chinag の 2 名が大阪：岩崎幹季先生、金沢：川原範夫先生を訪問する主旨が報告された。

審議事項

1. 本年のアジアトラベリングフェロー（受け入れ）における支援金について

これまで受け入れフェローの滞在費について、旅費は出身団体が負担し、訪

問先での食費、その他は実質的に受け入れ施設の好意に甘えてきた経緯があり、学会の活動として行なっている以上、支援金を支給するのが妥当と決定した。金額は日整会が AOA トラベリングフェロー来日時に支給しているフェロー1名あたり1日7000円に準ずることとし、理事会にかけることとした。

当日昼の理事会での審議の結果、フェロー1名あたり1日7000円支給することが承認された。会計の山崎理事へ連絡する。(中村理事)

2. 2016年以降のアジアトラベリングフェロー(派遣)について

前回の本委員会にて派遣先の新規開拓を検討する主旨が討議された為、アジアトラベリングフェロー(派遣)のあり方につき検討を行った。これまでの設立の経緯、歴史などを考慮するとこのままでも良いのではないかとの意見が出た。新規派遣先を検討する上で、CSRS-APでのコスト的状況、NASSの学会状況、APSSへの告知依頼などが討議されたが、まずは現状の台湾、韓国とのフェローシップを成功させてから、今後の開拓を考えることとした。シニアフェローとして担当理事、委員長がアジア各国を再度視察することが委員長より提案された。

次回委員会日程については2017年1月19日12:00-13:00を候補とし、場所は追って事務局より連絡することとした。

以上